

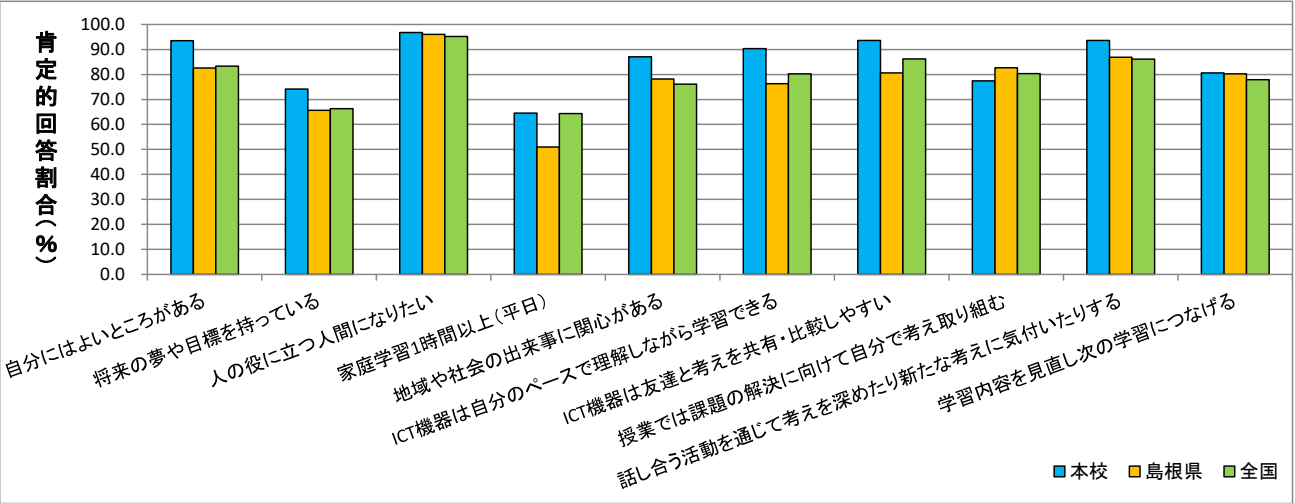
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○全般的に学習の内容は定着しているが、中でも行書の特徴の理解度が高い。また話合いの話題や発言を踏まえて自分の意見を書く記述式の問いに対しても、正答率が高く、無答率が低い。 ●一方で、話合いの内容を正確に捉える問いや、図と文章のかかわりを踏まえて内容を正しく解釈する問いに課題がある。	・話すこと聞くことの学習においては、話題の論点を意識して、情報を整理しながら正しく理解するための活動を充実させる。 ・新聞やレポートなど複数の情報を含み、図表を取り入れた文章などを正確に読み取る学習を積極的に取り入れる。 ・気づいたことや考えたことをペアやグループで意見交換し、他者の意見と比較吟味しながら、もう一度自分の考えを深められるように学習過程を工夫する。
数学	○日々の小テストや計算力テストを充実させることで、知識・技能問題、特に計算に関する問題での正答率は高くなっている。 ●自分の考えを整理して記述する力が弱く、記述式問題における正答率が低い。(文字式を利用した説明や、図形の合同証明)	・テスト後に実施するレポート活動を今後より定着させていく。 ・普段の授業におけるペアワークやグループ学習における学び合い活動がただの教えこみにならないように、発問等を工夫していく。 ・図形の証明問題では、結論から証明の流れを考えていくように思考を整理させていく。

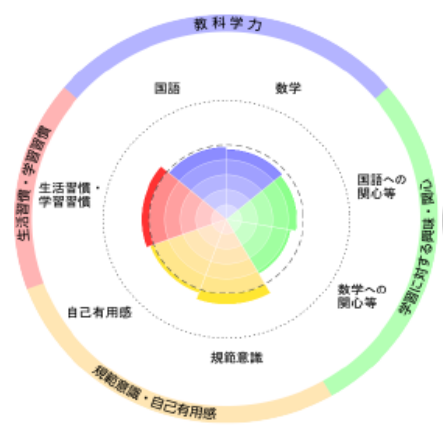
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○自己肯定感が高く、困ったら人に相談できると感じている生徒が多い。また、地域についてよりよくしたいという気持ちを持っている生徒が多い。 ●考え方が固定化しており、自分と違う他の意見を受け入れるのに抵抗を感じる生徒もいる。	・話し合い活動をより活発にするために、人の意見の聞き方や相手の考えや思いを受け止める体験活動を増やす。 ・人と違う意見も躊躇せず、発表できるような安心できる人間関係づくりをさまざまな授業、行事を通してつづけていく。

(3)質問紙調査結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

授業の中やその他の活動において、課題の解決に向け自分で考えて取り組むことが苦手な生徒が多い現状である。本校の今年度の研究主題である「仲間と協働して主体的に学び課題を解決するための思考力・表現力を高める生徒の育成」をもとに、授業等で課題意識が持てる取組を積極的に取り入れていきたい。

【受検者数】
30 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。